

自由研究発表 応募票

自然災害と観光のディスコース：ジョグジャカルタを中心にして
Natural disasters and tourism in Central Java

三宅良美 (秋田大学 (名誉教授))
Yoshimi MIYAKE (Akita University)

ジョグジャカルタ Yogyakarta 特別市およびその近郊の村落および都市は、地震とメラピ (Merapi) 山のコンスタントな活動下にある。2006 年から 2010 年にかけては、大地震と火山爆発の爆発が続き、多くの死者負傷者を出した。本論ではこのジョグジャカルタを中心にして、地震と火山の爆発、それに伴う土石流災害を経験したそれぞれの地域が行ってきた文化活動、観光業の現在について報告し、考察する。

活火山であるメラピ山の 2010 年の大爆発は、火口に近い村落やジョグジャ側、南に向かって巨大な損害をもたらし、350 名を超える死者を出した。この爆発後、火山活動研究所 (BPPTKG)、火山博物館、防災観測所所が各地に建設され、地震と火山の活動のモニタリングが 24 時間体制で行われている。災害が起きた際の体制システムも整備された。

本論は、災害と隣り合わせにあるコミュニティのサバイバルとしての観光業の光と影について考える。被災地、とりわけ火砕流で数多くの死者を出し、農地を溶岩で破壊された村落 Kinarejo が行う溶岩ツアー経営者らの語り、ツアー参加者らのレビュー、火山博物館における展示と説明について考察する。この中で、とりわけ、Merapi の宮廷儀礼執行者 Pak Marijan (マリジャン氏) に焦点を当てる。「殉死」したとされる氏についての言説、Marijan の犠牲執行者としての仕事を継ぐその家族、そして、Marijan をめぐる Kinarjo 村の言説、Yogyakarta 宮廷の言説、インドネシア国家に連結する言説をそれぞれ報告し、ディスコース分析の方法論を用い、言語風景論に基づき解釈、分析を行う。データは、2020 年以来断続的に行ってきた見学と聞き取り調査、アンケート調査に基づく。

References Casimir, Michael J. (2009). [Culture and the Changing Environment: Uncertainty, Cognition, and Risk Management in Cross-Cultural Perspective](#). Berghahn Books. [ISBN 978-1-84545-683-2](#).

Kokta Jogja.com "[Komplek Rumah Dome](#)".

Shohamy, Elana; Durk Gorter (2009). *Linguistic landscape: Expanding the scenery*. New York and London: Routledge